

様式3 【物・文化財・風景など実体のあるもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 箱 床	(ふりがな) はこどこ	
地域独特の呼び方	寝 箱	ねばこ	
タイトル	寝 箱		
伝承地域	金山町山入 (町内一円)		
由来 (年代)	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 土座の多かった民家で主に使用され、江戸時代 (18 世紀中ごろ) の日記にもその使用が記述されている。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 土座生活の寝具の名残として、寝箱 (箱床) がある。寝箱は、四方を板で組み立てた大きな箱で、全国的にも珍しく、会津地方から山形県にかけて分布していた。箱の中にクタダ (稲藁の芯以外の柔らかい茎と葉の部分) を入れ、クタダ布団 (スグブトン) を敷き、その上に寝て、上には掛け布団を掛けた。 南会津地方では昭和 20 年代まで年寄り達が使っていた。南会津町木伏では、昭和 46 年まで使用していた老人が報告されている。		
大きさ・材質	(大きさ: 緑の文化財、巨木、建造物などスケールが情報として有用なもの) 長さ約 1 間、幅 4 尺程度	(材質) —	
見頃	(緑の文化財、巨木など特定の時期に見頃が訪れるもの。) —		
交通アクセス	裏面写真の寝箱は、会津民俗館 (猪苗代町三城潟) に展示。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	金山町教育委員会	電話 0 2 4 1 - 5 4 - 5 3 3 3	

【フリーフォーマット】

キーワード：

<箱 床> 南会津町木伏で昭和 46 年まで使用していたもの



(会津民俗館)